

詳細調査候補地選定プロセスの検証結果について（中間報告）

平成27年 3月

栃木県指定廃棄物処分等有識者会議

1 検証の内容

国による詳細調査候補地の選定プロセスが、決められた栃木県版の選定手法に則り適切に行われたかについて、出典データ等を用いて検証を行う。

2 検証の経緯

平成26年 8月20日	第1回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議
9月24日	詳細調査候補地の現地視察
11月11日	第2回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議
平成27年 1月23日	第1回検証作業
2月18日	第2回検証作業
3月16日	第3回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議

3 検証結果の概要

- (1) 選定プロセスのチェックリスト全50項目（「津波」を除く49項目）を検証したところ、38項目については、国の詳細調査候補地選定プロセスが決められた手法に則り適切に行われたと判断し『適』とした。
- (2) 残り11項目については、確認を要する事項があることから、国に回答を求め、引き続き検証作業を進めていく。

【大項目ごとの内訳】

大項目	項目数	適	検証継続
I 利用可能な国有地・県有地	2	1	1
II 安全等の確保に関する事項	31	22	9
III 必要面積を確保した土地の抽出	6	6	0
IV 安心等の理解が得られやすい土地の選定	10	9	1
計	49	38	11

【意見（指摘）があった項目】

大・小項目	個表No.	意見（指摘）
I 利用可能な県有地	(2)	●草久保全林（鹿沼市・11.4ha）が利用可能な県有地に含まれていないのではないかと。
II 自然公園	(24)	●除外する地域として、尾瀬国立公園が含まれていないのではないかと。

4 今後の予定

第3回栃木県指定廃棄物処分等有識者会議の議論を踏まえ、今後、検証作業を継続して実施し、早期に最終報告を行う予定。